

## 群馬県議選の区割り、変じゃない??

### ??～市町村合併は進んでいるけれど…??

平成15年4月1日、平成の大合併では初となる町村合併により新神流町が誕生しました。その後、昨年12月には新前橋市、今年に入って新伊勢崎市・新沼田市・新太田市と、平成18年3月末に向け新しい市が誕生しています。合併により住所の地名やゴミ袋の問題など、私たちの生活にも様々な面で変化がありますが、より機能的な地方自治を推進することが目的の合併で、ちょっと「??」なことが…。

伊勢崎・太田では新市のもとで市長選が行われ、これからも渋川・富岡・みどり・安中(区域は下図参照)で新しい市の市長選が予定されています。

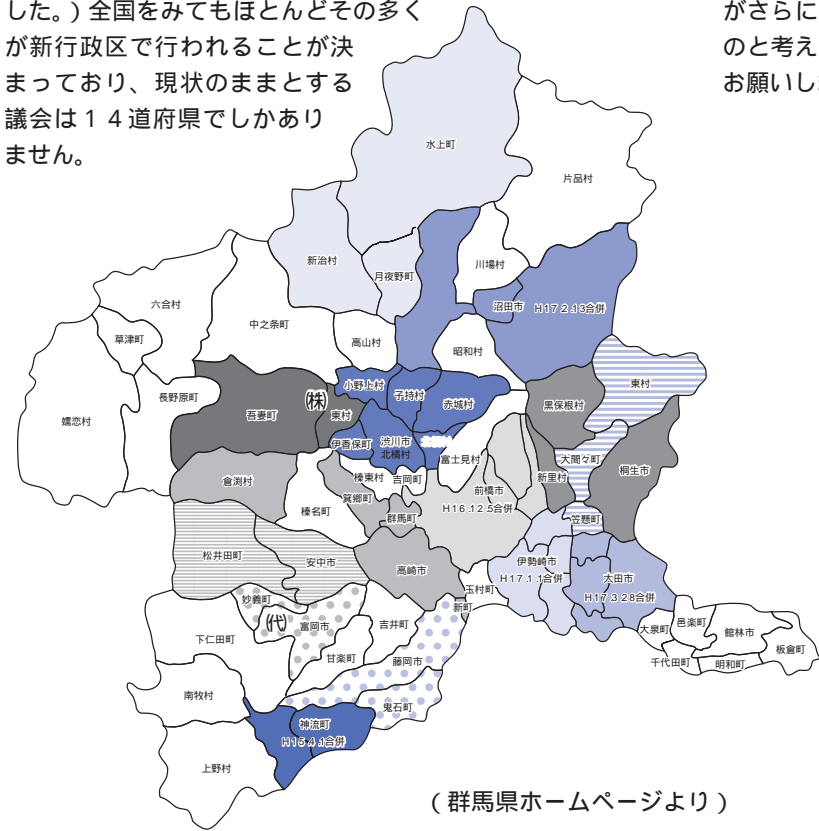
しかし、昨年9月の県議会で平成19年に実施予定の県議選は、現状の区割りのままとすることが決まりました。場合によっては見直しも…となっていますが、何かへんだと思いませんか?(連合群馬はこの9月議会で「現行選挙区の見直しを求める意見書」を提出しましたが、自民党反対で採択されませんでした。)全国をみてもほとんどその多くが新行政区で行われることが決まっており、現状のままとする議会は14道府県でしかありません。

仮に現状のままで選挙が行われると、前橋市の場合は2つ(旧前橋市・勢多郡) 来年1月に合併する高崎市の場合は選挙区が3つ(旧高崎市・群馬郡・多野郡)に分かれてしまい、ほとんどの市民が、同じ市民のはずなのに「どうして…?」と疑問を持たれると思います。

県議選は合併前の区割りで行うのに、その直後の市議選は新市域で行われるという、多くの市民が感じる疑問に答えこれを解決するため、連合群馬はフォーラム群馬県議団をはじめ、関係政党・諸団体の参加協力を得て、「群馬県議会議員選挙のあり方を考える会」を結成しました。

そして、この「あり方を考える会」は本年9月議会に向け、多くの県民の皆さんの参加を呼び掛け、合併後の新行政区を踏まえた「県議選区割りや定数の見直し」を求める県民運動として署名活動に取り組みます。

私たちは、新行政区から県議を選出することで新市の一体性がさらに進みますし、区割りは将来展望を踏まえ決定すべきものと考えています。多くの皆さんの署名へのご協力をよろしくお願いします!



(群馬県ホームページより)

### 選挙区が2つ以上に分かれる地域

新市名	選挙区	No
前橋市	前橋/勢多	②
高崎市	高崎/群馬/多野	⑨
桐生市	桐生/勢多	⑥
伊勢崎市	伊勢崎/佐波	③
太田市	太田/新田	⑤
沼田市	沼田/利根	④
渋川市	渋川/勢多/北群馬	⑩
藤岡市	藤岡/多野	⑧
富岡市	富岡/甘楽	⑫
みどり市	山田/勢多/新田	⑬